

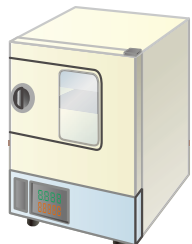
AEC試験の運用を支援！ 電子部品の温度計測のご案内

AEC規格の信頼性適合試験などで、電子部品の実温度計測に極細シース熱電対を使用してみませんか？
運用に便利な機能の付いた、IATF支援用レコーダとの組み合わせがお薦めです。

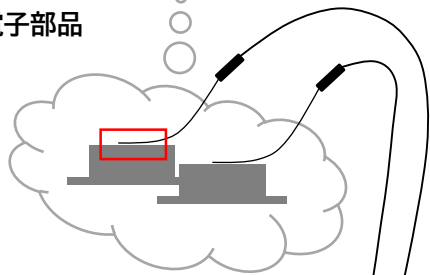
高温高湿負荷(バイアス)試験 など

運用例：恒温槽での性能試験(電子部品の発熱)

恒温槽



電子部品



極細シース熱電対
φ0.15/φ0.3mm



- ・小径での電子部品への熱負荷軽減
- ・シース構造での絶縁性向上
- ・耐熱400℃

極細シース熱電対なら！

電子部品に直接付けて、発熱などの状況をより正確に測定することが期待できます。

*熱電対の抵抗値や取扱いにおける注意が必要な場合があるため、詳細は弊社営業担当者へお問い合わせ下さい。

IATF運用支援 記録計 KR

センサへの
便利な機能

補正機能

- ・入力チャンネルごとの補正入力が可能
- ・温度センサの成績書を基に温度域ごとの補正入力が可能

管理機能

- ・熱電対の使用時間が管理可能

耐久性

- ・入力チャンネル間耐電圧 1000VACでの安定記録



AEC-Q series

AEC-Qseriesは、車載電子部品評議会(Automotive Electronics Council)において自動車に適用される電子部品に対する信頼性評価の要求事項です。世界の自動車メーカーのOEM車で通用します。

IATF16949の運用も支援しています！

IATF16949は自動車産業に特化した品質マネジメントシステムに関する国際規格で、世界の多くの自動車メーカーが、自動車部品のグローバルな調達基準として採用しています。

チノはJCSS認定業者！ 信頼性における計測データのために校正管理を

国際相互承認プログラム(MRA)により
国外でも有効なJCSS校正証明書



株式会社チノ標準技術部は、認定基準とISO/IEC17025を用い、認定スキームをしてISO/IEC17011に従って運営されているJCSS(計量法校正事業者登録制度)の下で認定されています。

JCSSの認定機関であるIAJapanは、アジア太平洋認定協力機構(APAC)及び国際試験所認定協力機構(ILAC)の相互承認に署名しています。0024は当社標準技術部の登録番号です。



引き取り校正

現地校正

恒温槽分布測定用センサ+レコーダを
組み合わせでJCSS校正



現場にお伺いして
点検・校正サービスを実施できます

日常的なチェックに

データの信頼性担保に役立ちます

小形校正装置KT-H504をご用意

- ・ 定期管理
- ・ 測定前のチェック

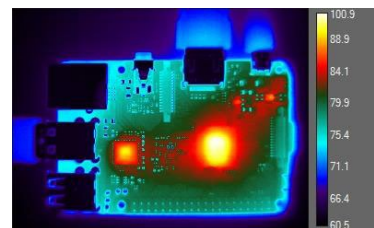


計測中の温度分布をサーモグラフィ画像で

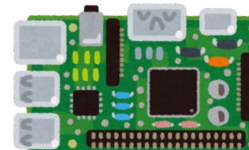
耐熱用熱画像 CPA-Lを現在、開発中です。



恒温槽内の温度分布、各部品の温度分布・変化をサーモグラフィ画像で視覚的に分かりやすく見ることができるようになります。



*恒温槽内に設置した
水冷機能付き筐体試験機



CHINO 株式会社チノ

<https://www.chino.co.jp>

※この資料の記載内容は2021年6月現在のものです。